

E & T EXPO(第6回建設機械展示会 第4回鉱山機械展示会) (ブラジル) 出張報告

天野国際業務担当部長は標記展示会の当協会ブースにて協会・総合研究所の紹介及び CONET2006 の広報宣伝活動を行って来たので、報告します。

展示会の概要

開催期間：2006年6月6日(火) - 10日(土) 5日間

施設：サンパウロ市南部にある IMIGRANTES 展示会場にて開催。

会場面積：約 42,000 m² (屋内 22,000 m² 屋外 20,000 m²)

出展者数：300社以上。(取り扱いメーカー数は400社以上)

来場者数：約 30,000 - 32,000 人を予定(最終数字は集計中)

展示会の様子

ブラジルは過去10数年に亘る国内の不況から脱却し昨年からは好況に転じ、建設業は今年年初の2ヶ月で7%の成長率、又機械生産の伸びも8.6%と建設業界の回復を示している。この影響で、出展者の数も、又各社の出展面積も大きく活気を呈していた。



屋内会場入り口



屋外展示風景

今回の特徴は、ブラジルは中南米(特にブラジルを中心とする南米自由市場 - MERCOSUR)でのプレゼンスを意識した展示会との感じがした。近隣諸国の建機協会を軒並み招待しており彼らにブラジルの強さを示すことに力点を置いていた様に見えた。

屋内では、コマツ、CAT、NHC (NEW HOLLAND CASE) TEREX を初めとする大手メーカーが展示をしていた。



CAT



コマツ

一方、屋外では大型クレーンの展示や実際の掘削積込み作業の実演などのデモが出来る場所を確保していたが、作業デモはあまり観客は多くなく、やはり派手なパフォーマンスに人気が集中していた。



VOLVO の積込みデモ



JCB によるパフォーマンス

展示会での成果

今回は以下の協会と直接コンタクトが出来、今後のCONETのプレゼンスを高めるのに有効な結果となった。

AEM(ASSOCIATION OF EQUIPMENT MANUFACTURERS) (米国)

アメリカの建設機械工業会で CONEXPO の主催者である。今回 CONET の主催者である当協会に対し是非直接交流を深めたいとの意向を示してきた。今回の CONET は時間も無く AEM の参加は出来ないが、今後 2008 年の LAS VEGAS を初め中国での CONEXPO ASIA でも交流を進めて行く事で合意した。

参考：2005年 CONEXPO 概要
面積 340,000 m²
来場者数 124,000 人
出展者数 2,300 社 (120 カ国)
期間 3月15日-19日 (5日間)

COMAMOTER (イタリア)

イタリア建機工で3年ごとに同国でSAMOTERと言う建機展を開催している。これはヨーロッパの3大展示会(他はBAUMA INTERMAT)の1つで、前回は2005年3月5-9日に開催された。

概要

面積 126,000 m² (内 デモスペース 25,000 m²)
来場者数 94,500 人
出展者数 985 社

彼らは日本への進出に興味を持っており、今回のCONETに取り敢えず彼らCOMAMOTERのブースを設置し、次回2008年のイタリア展示会には当協会がブースを設置することで合意した。

彼らも日本への完成品の輸出は難しいことを知っており、特にコンポーネンツ、アタッチメントなどのニッチ商品に注力し市場開拓に力を入れるとの事。

写真集



屋内メイン通路 (CAT は両側に展示)



DYNAPAC 展示



NEW HOLLAND 展示



RANDOM 社(ブラジルメーカー)



WIRTOGEN 展示



GROVE 展示



TEREX 展示



中国製クレーン



VW 社製トラックヘッド



屋外クレーン展示